

宮陵会報 2006・12

# KYU-RYO

No.83

発行責任者  
 社団法人 宮 陵 会  
 広報委員会

〒221-0802  
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
 神奈川大学内  
 TEL 045-481-5661  
 (内線 2451~3)  
 FAX 045-413-0791  
 印刷所 株式会社 江森印刷所



昭和31年 電気工学科ご卒業の皆さま  
 今日が一番遠くは大分から、約50年ぶり集まりました。  
 校舎が鉄筋になっていて、とても驚いたよ。俺たちが学生の  
 のころは、まだ校舎はみんな木造で。  
 一度火事で研究室がすべて燃えてしまったことがあるんだ  
 よ。あの頃を思いだすなあ。



昭和46年 電気工学科ご卒業の皆さま  
 ぜひ宮陵会の広報誌に載せてください!!

**Welcome  
 to Home  
 Coming  
 Day!!**



川尻 明弘さん (平成15年 経済学科卒)  
 久しぶりに大学に来て、キレイになって  
 驚きました。久しぶりに友達にも会え、  
 昔に戻ったような気分です。



新井 淑子さん 長友 竜二さん  
 (平成18年 II 経済学科卒)  
 ホームカミングデーに来る事が夢でした。来る  
 事ができ、本当に良かったです！ただ、あまり  
 同じ年の卒業生が少なく、友人にあまり会えな  
 かったことが残念です。



高橋あずささん 橋高さかえさん (平成8年 化学科卒)  
 10年後に参加する際には友達全員つれてきます!!



曾我 修一さん (昭和52年 貿易学科卒) (左)  
 20年ぶりに元気な先生にお会いできて本当に  
 良かったです。ぜひ回数を年2回など増やし  
 てほしいです！  
 鈴木芳徳先生とご一緒に



**Contents  
 No.83**

宮陵会の運営・発展に向けて … 2～3  
 本部だより …………… 3  
 準会員ニュース …………… 4～6  
 神大フェスタ・平塚祭他 …………… 6  
 第12回ホームカミングデー開催 …… 6  
 横浜文化賞受賞 …………… 7  
 神大の歴史(25)他 …………… 8

# 宮陵会の運営・発展に向けて

## 各委員会からの報告

### 企画委員会

企画委員会は、組織の活性化に向けた検討を進めてきました。そのひとつは、全国組織のブロック化充実と未組織ブロックの立ち上げ推進、各支部の組織活性化であります。ブロック組織の立ち上げでは、中国ブロックならびに中部ブロックの組織化がこれまでも検討されておりました。中国ブロックの立ち上げには休眠状態である「広島県」の再建が最優先されることであり、本部として再建の発起人を掘り起こす作業を進めております。

また、中部ブロックについては、該当地区の支部長への働きかけを継続していくこととしております。関東ブロックについては、会員数がたいへん多いブロックとなることから、その組織編成についてはさらに時間をかけて検討することとしています。このような状況のなか、約四万五千名が在住する神奈川県については、横浜市内の組織化をまず優先して推進することになりました。本年六月に「三浦半島支部」が結成されたことはたいへん喜ばしい限りであります。横浜市内には約二万名の会員がおります。すでに結成された区支部がありますので、これを除く未組織の区において組織化を進めることにいたしました。会員数は区ごとに多少の差がありますが、凡そ千名から二千名程度になるよう区を統合して設立する方針を決めました。昨年からの具体的検討の結果として、このたび、横浜市内の区支部設立に向けた設立準備委員会が立ち上がった支部はつぎのとおりです。なにとぞ、在住の会員の皆様方におかれましては、積極的にご参加をお願いするところであります。また、

その他の区支部につきましても、現在設立準備委員会の発起人としてご協力いただける会員をご依頼しておりますので、自薦他薦を問いませんのでよろしくご協力いただきますようお願いする次第です。

#### ■区支部設立準備委員会を

立ち上げている区支部

緑区・青葉区・都筑区支部(仮称)

会員数 二、一三四名在住

戸塚区・栄区支部(仮称)

会員数 二、五七八名在住

#### ■区支部設立準備を

検討協議している区支部

磯子区支部(再建)、西区支部(再建)、鶴見区支部、港北区支部、瀬谷区・泉区支部

各区支部の設立に向けた準備については、企画委員会と設立準備委員会の発起人候補者との合同で検討・協議を進めてきました。そして右記の設立準備委員会は、設立総会に向けた作業に入っております。総会開催通知については、後日追ってご案内いたしますが、神奈川大学横浜キャンパスにて三月一七日(土)を予定しています。当日の午後には全国高校生俳句大賞の発表と表彰式がセレストホールで行われます。

### 定款等検討委員会

平成一八年度通常総会において承認された「社団法人宮陵会定款の変更」については、所管官庁の文部科学省高等教育局私学部私学行政課へ「定款変更申請書」提出に向けて、担当部局と相談を重ねてまいりました。

ご承知のように、本会の総会と時を同じくして、国会では、公益法人制度の改革法案が成立し、平成一八年六月二日公布されました。新法の公布から二年六ヶ月内に法律が施行され、同時に現行の公益法人はすべて法律上「特例民法法人」となります。また、この法律の施行から五年間を移行期間として「公益社団法人」への移行の認可の申請、又は「一般社団法人」への移行の認可の申請をすることになります。このような公益法人制度の改革が平行してありますことから、所管官庁も定款変更の申請手続きについて慎重に協議されていくようです。しかしながら、さる一〇月二三日に「定款変更の申請書」を本会原案どおり受け付ける旨、最終連絡を事務局にいただきましたので、早速、文部科学省に申請手続きをいたしました。なお、文部科学大臣からの認可をいただく時期は、一八年内の予定とのことであります。認可されました折には、本会のホームページに掲載いたします。また、公益法人制度の法律改正に伴い、本会の社団法人のあり方につきましては、この五年間の移行期間中に議論をすすめて検討してまいりますので、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

### 財政検討委員会

いよいよ来春平成一九年四月から、本会定款施行規則の一部改正による会費の改定を実施することになります。これまでの終身会費を納入された会員からも、会費納入後二〇年を経過した会員からは新たな維持会費を納入していただくこととなります。これらの会費改定内容につきましては、会誌「宮陵」ならびに会報八二号によりお知らせしております。また、本会のホームページも参照願います。現在、事務局では会員個々の会費納入状況を鋭意データ入力処理しているところです。来春にはそれぞれの会員の皆様にお知らせできるように準備作業を進めています。また、一八年度の会費につきましては、これまで年会費

を選択されていた会員の方には、現行の年会費三千円、または終身会費三万円の納入をお願いしておりますので、別添同封の会費納入票によりご協力をお願いいたします。



来年一月二日・三日は、新春恒例の第八三回東京箱根間往復大学駅伝競走が行われます。我が会員、大学関係者をはじめ地域の方々とともに応援をしたいと思います。多くの応援参加者を集めて箱根駅伝と一緒に応援しましょう。今年の選手名鑑に応援ポイントを記載しています。

ここでは、沿道において熱心に応援している支部を紹介いたします。この機会にぜひ最寄りのポイントで応援の輪を広げましょう。

**1・10区** 大田区体育館前 大田区役所支部  
藤田正人支部長(四八建)と会員一〇数名により、多数の幟で大声援を毎年繰り広げています。

**2・9区** 東神奈川駅最寄りの沿道 神奈川区支部 野道昭三支部長(二五五賢)と会員五〇名が、幟七〇本を立てて応援し、六角橋商店街のファン約四〇〇名とともに大声援をおくっています。新春の祝酒を振舞っていました。ファンが多くなりすぎ今回は自粛することです。

**2・9区** 横浜駅東口 最近是他大学の応援旗が通過一時間以上前から立ち始めていますので、今年は早めにポジション確保を計画しています。応援友の会を中心にポイント確保します。緑区・青葉区・都筑区の支部設立準備委員会ならびに西区支部設立準備委員会の会員のご協力もいただいています。

例年 定点カメラが設置される関係から大変な混雑となりますので、選手通過一時間前には、幟を目印にご参集ください。

**2・9区** 保土ヶ谷駅前 保土ヶ谷・旭区支部 矢野達夫支部長(三一法)、磯子南区支部 岩崎幸雄支部長(二〇経)、磯子区支部の会員さらに本年設立された三浦半島支部 古川勝彦支部長(四〇経)を加えて、多数で幟による応援をします。

**2・9区** 榑太坂 教職員の有志を中心に榑太坂上で幟応援しています。ここも定点カメラが例年設置されるので大変な混雑です。

**2・9区** 矢沢交差点 戸塚・栄区支部設立準備委員会の武笠健次委員長(四一法)ほか教職員有志が主になり矢沢歩道橋の下で幟による応援を繰り広げています。

**3・8区** 原宿交差点付近 瀬谷・泉区支部設立準備委員会の会員と教職員有志ならびに沿道のファンが幟一〇本で応援しています。

**3・8区** 遊行寺・藤沢小学校前 藤沢支部 渡辺光男支部長(三三経)と会員三〇名が幟で大声援。早く応援に来た方には甘酒を振る舞っています。また、高砂小学校前でも会員が幟応援を繰り広げており、応援後に「あずみ野」でTV観戦会を開催しています。



3区 遊行寺前にて

**3・8区** 湘南海岸公園付近 平塚駅南口から一三四号線との接点付近 平塚支部金子三夫支部長(二八電)会員三〇名が五〇本の幟で応援し、毎年三日は応援後に近くのサンライフガーデンホテルにてTV観戦と新年会を開催しているとのことです。

**5・6区** 箱根湯本駅前 南足柄支部 鈴木永峯暉夫支部長(三〇経)、相模原支部 岡野一雄前支部長(三一経)等、多数の幟で応援し、応援後は駅上の村上東司氏(四〇機)が経営する「かっぱ天国」温泉で懇親会を毎年開催しています。懇親会には、応援指導部OB会の会員も参加されています。

### 本部だより

初の神奈川県出身の 県知事誕生！

福島県知事 佐藤 雄平氏(四五経)

来春 神奈川県知事選挙に 杉野 正氏(五七賀)が 立候補予定

本会の会員であります前参議院議員の佐藤雄平氏(四五経)は、さる十一月一二日に行われた福島県知事選挙において、他の候補者四名を大差で破り初当選されました。神奈川県出身としては、初めての知事が誕生しました。今後のご活躍を祈念いたします。

一方、来春に予定されています神奈川県知事選挙におきましては、本会の会員であります杉野正氏(五七賀)が立候補する予定となりました。杉野氏は、長野県しなの鉄道を就任二年目に黒字経営に転換した経営手腕を評価され、埼玉県の第三セクター埼玉高速鉄道の社長に就いていましたが、ここでも手腕を発揮し経営の目途をつけ、いよいよ来春の知事選挙に挑むとのことです。

### フェスタ 「ごんやんの香」



去る一月四・五日に開催されました横浜キャンパスの大学祭「神大フェスタ」に、卒業生と準会員(学生)との交流ならびに卒業生相互の交流を図るため、本年初めて「ふるさと香り」のコーナーを出店しました。会場入り口のテントにおいて、来場された卒業生に立ち寄っていただき、卒業生の憩いのコーナーとして情報交換とご来場者カードを記入していただきました。両日とも一〇〇名ほどの会員がご越しになり、昔の校舎のことや短大廃止に驚愕されるなど、いろいろな感想や思い出などが行き交う場となりました。昨年の衆議院選挙で小泉前総理と議席を争った齋藤つよし氏(四四法)も顔をだされて、平塚

平成18年度 社団法人宮陵会 給付奨学生(第1次)の採用者

平成18年度(第1次)の採用者は下記のとおり決定いたしました。

- ◆経営学部国際経営学科3年 越沼 雄一
- ◆経営学部国際経営学科2年 小野寺和樹
- ◆理学部生物科学科1年 平賀 義路

**新支部・支部長紹介**

【新支部紹介】  
体育会ヨット部OB会(きさらづ会) 支部長 42応化 渡邊 修三

【新支部長紹介】  
山形支部 阿蘇 司朗(31電)  
神大レスリング部OB会支部 松本 直高(40経)  
福島支部 藤田 幸治(38法)  
相模原支部 桐生 忠一(34短電)

**訃報**  
謹んでお悔やみ申し上げます

高木 伸司 殿 元神奈川県理学部教授 平成18年5月28日(逝去)  
近藤 芽美 殿 元神奈川県工学部教授 平成18年6月21日(逝去)  
石井 裕二 殿(36経) 神奈川県陸上競技部OB会支部支部長 平成18年9月7日(逝去)  
出口 康彦 殿(38法) 代議員  
元神奈川県大学評議員 平成18年11月16日(逝去)  
野呂 勝明 殿(33法) 代議員  
平成18年11月19日(逝去)

## 吹奏楽部

第54回全日本吹奏楽コンクール  
通算20回目の金賞を受賞しました!!

私たち吹奏楽部は、10月28日に栃木県宇都宮で開催された『第54回全日本吹奏楽コンクール』に出場しました。大学の部のコンクールは出演人数が55名と決められており、現在、150名余りいる部員のわずか3分の1しか出場することができません。

全国大会までの道のりは、とても過酷で、県大会、東関東大会を経て、ようやく掴んだものです。練習も通常練習の他に、強化練習やホール練習、遠征など厳しい練習を重ねてきました。そういった練習の最中でメンバー以外の部員の励ましや多くの支えがありました。その結

果、通算20回目の金賞受賞することができました。結果発表の時は部員全員が喜び、まさに感無量でした。

今回、全国大会でこのような素晴らしい結果を残せたのも、部員だけの力ではなく、大学をはじめとする皆様の応援やご支援のおかげです。部員一同、とても感謝しております。本当にありがとうございました。このコンクールを通じて得たものを今後の活動の糧にし、日々の練習に励み、皆様の心に残る演奏をしていきたいと思っております。今後とも私たち吹奏楽部へのご支援の程、何卒、宜しくお願い致します。(今村 周二)

【次回演奏会のお知らせ】『神奈川大学吹奏楽部 第42回定期演奏会』を2007年1月6日(日)、池袋の東京芸術劇場にて13:15開場・14:00開演で行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

お問い合わせ 神奈川大学吹奏楽部公式ウェブサイト (<http://www3.to/kusb/>) 部室 045-481-2989

準  
会  
員  
N  
E  
W  
S

## スケート部

坂下泰子W杯代表初選出!!  
(スピードスケート部門)

スケート部スピード部門の坂下泰子(人間科学1)が10月7、8日に開催されたW杯第1・2戦派遣選手選考会においてW杯アジア地区大会代表に初選出されました。高校時代にジュニア代表として日本代表を経験したことのある坂下もシニアでの選出は初めてでしたが、韓国・中国・カナダといった強豪ひしめくW杯において世界のレベルを肌で経験し帰国後に開催された日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会において1500m3位、500m5位という好成績を収めました。

また、男子では渡部裕太郎(英語英文2)が3000mで入賞まであと一步の7位と健闘を見せました。その後に開催された全日本選抜大会にて坂下が全日本選手権大会への出場権を獲得し来年2月に京都府で開催される大会に向けて練習を重ねていきます。大学に入学後、環境の変化によって思うように成績を残せない選手もいる中で高い目標を常に持続し、目標に向かい努力する姿はまさにアスリートのあるべき姿であると思います。

坂下は今後も世界ジュニア大会代表、ユニバーシアード代表選考会が続きますが高い目標を持ち、神奈川大学の代表として精一杯頑張りますので応援よろしくお願ひします。(主務 渡部 裕太郎)

## 水泳部

## 関東学生選手権 2部優勝で1部昇格!!(女子)



私たち水泳部は、昨年の関東学生選手権男子2部優勝1部昇格に続き、今年度女子が2部優勝1部昇格を成し遂げました。

2年生の種田恵、山田千夏の両選手がそれぞれ2部の大会記録を塗り替え、それに続くようにほかの女子選手も上位入賞を果たしました。特にリレーに関しましては他の大学を寄せ付けないほどの圧勝でありました。その結果2位の大学と大差をつけて優勝することができました。

また、男子に関しましては多数の者が自己ベストを更新し、ほぼ全ての種目で入賞することができました。昨年1部に上がったばかりなのににもかかわらず、総合3位まで上り詰めることができました。そして、その後の日本学生選手権におきましては、男子400M、800M フリーリレーで11位、種田が200M 平泳ぎで2位、山田が100M 自由形で5位と神大が全国でも

闘える力をつけてきたことを証明してみせました。また、他の全国大会では、山田が日本選手権に出場、種田、山田に加え、2年の高橋弘樹、1年の山田篤未が国体に出場しました。今年は昨年の種田のように、世界の舞台上で闘えた者はいませんでした。種田にしても他の選手にしても着実に成長し力を伸ばしてきています。来期は男子1部優勝、女子1部3位入賞を目標に定め、できる限りの努力をしていきます。この目標を達成させるためには強豪とよばれている大学を倒さなければならないため、簡単な事ではありません。しかし、私たちが次に目指すものはこれ以外にはなく、チームとして「本物」となることができれば決して不可能なことではないと思っています。目標が達成できるよう部員一同日々精進してまいりますので、OB・OGの皆様からの暖かい応援よろしくお願ひいたします。(主将 白鳥 一樹)



## 第83回箱根駅伝予選会 第5位で本戦への出場権獲得

陸上競技部

宮陵会の皆様には、日頃から多くの暖かいご声援を頂き誠に感謝しております。全国各地からの皆様のご声援は、選手にとって力強い励みとなり、日々の支えとなっております。

まず初めに、第83回箱根駅伝予選会(10月21日)、第38回全日本大学駅伝(11月5日)の二つの大会を無事終えたことをご報告致します。ほとんどの者が初めての経験であった予選会は、非常に緊張感に包まれた中ではありましたが、主力の4年生4人を中心とした走りで、第5位という結果で本戦への出場権を獲得することが出来ました。これも偏に皆様からの多大なご支援の賜物であり、深くお礼申し上げます。また、予選会后2週間という短い期間で行われました全日本大学駅伝では、総合12位という結果に終わり、改めてシード権獲得の厳しさを痛感致しました。

現在は最大の目標である箱根駅伝において、神大らしい走りで襷をつなぎ昨年の雪辱を晴らすべく、チーム一丸となり練習に取り組んでおります。今後とも皆様のご期待に応えられるよう精進していきますので、ご声援の程、よろしくお願い致します。

(マネージャー 篠原 美希)

## 女子バレーボール部

## 全勝優勝、春季・秋季リーグ戦無敗！ 6部から4部へ昇格しました!!



私たち女子バレーボール部は、昨年度6部降格という悔しい結果を残してシーズンを終えました。この悔しい思いを胸に、引退してしまった先輩方の分まで精一杯練習をして、必ず勝ち上がろうと現役部員で目標を立てました。そして今年度、新たに一年生を向かえる事ができ、決して満足とはいえない練習時間や内容の中、関東大学バレーボール連盟春季リーグ戦で全勝優勝し5部昇格を果たしました。また、そこで満足することなく、さらに上を目指しながら練習に励み、OB・OGの皆様の温かいご支援を受けて、同秋季リーグ戦では全勝優勝4部昇格を成し遂げることができました。昨年度の悔しい思いを晴らし、二大会を無敗で終え、4部に再び咲けた事に、部員一同喜んでおります。

今後は来シーズンに向け、更なる飛躍を目指し、チーム一丸となって練習に励みたいと思います。OB・OGの皆様を始めとする温かいご声援を、今後ともよろしくお願い致します。

(主将 梶原 智美)

## 平塚軟式野球部

## 神大卒業生に支えられた全日本大会。 惜しくも2回戦敗退！ 宮陵会熊本支部の皆様、本当にありがとうございました！

劇的な幕切れでした。大学軟式野球の日本一を決める第29回全日本大学軟式野球選手権大会に出場した平塚軟式野球部は1回戦を逆転で勝利し、2回戦で近畿大学と対戦しました。試合は9回で勝負がつかず延長戦・特別ルール(無死満塁から攻撃を行う)に突入。先攻の神奈川大学は持留功作(国際経営4)のタイムリーで2点を先制するも、しかし後続が続かず、リードは2点のまま守りにつきまじりました。迎える近畿大学は4番からの攻撃。この日タイムリーを打たれている相手を前に先発の持留はカウントを1-2と悪くし、そして勝負にいった4球目、渾身のストレートを狙い撃たれ、左中間を破る走者一掃の劇的な逆転サヨナラ二塁打で同部の夏は幕を閉じることとなりました。

試合終了後、泣き崩れ立ち上がることでできないナインに球場内の観客は盛大な拍手を贈りました。新チーム結成以来同じ大学生相手に負けていない同部は今大会の優勝候補でした。試合では終始攻め続け、攻守に相手を上回っただけに選手のショックは大きいものでした。しかし、試合には負けたものの遠く熊本県で行われた大会にもかかわらず、同部の卒業生、御父母、教職員、そして宮陵会熊本支部の皆様をはじめ、たくさんの応援を背に試合に臨めた選手はとても幸せでありました。特に宮陵会熊本支部の皆様には試合中、選手にエールを贈って頂き、また敗戦した日には落ち込む選手を激励に宿舍まで駆けつけて頂くなど、遠く離れた地でプレーする選手を支えて頂きました。支部の皆様と選手、同部関係者、教職員で円陣を組み大声で一緒に校歌を歌った時には、「神奈川大学卒業」ということを強く誇りに思える瞬間でありました。

平塚軟式野球部は本当にたくさんの方々を支えられ、野球に取り組める環境があります。同部のホームページの望月達也主将のメッセージにあるように、今後も支えてくださる皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、野球を出来る喜びをプレーで表し、新たな伝統を築いて頂きたいと思っております。

(宮陵会広報委員 岩窪 愛和)



宮陵会熊本支部の皆様と

# 第8回 神大フェスタ



一月四日(土)・五日(日)の両日、横浜キャンパスにて神奈川大学の大学祭、「神大フェスタ」が開催されました。今年第八回目を迎えた神大フェスタのテーマは『きっかけは神大生』です。

このテーマには、神奈川大学の学生によって作られた神大フェスタに来場した人全てが、神大フェスタを新しい出会いのきっかけや、新しいことを始めるきっかけの場にして欲しいという願いが込められています。

今年も神大フェスタは「学生主体」、「地域密着」をコンセプトに、二〇〇団体を超える参加者と、神大フェスタならではのオリジナルイベントで大変な盛り上がりを見せました。神大生がダンスや大道芸など自分の得意な技で競い合う「神大スター決定戦」は例年以上のハイレベルな戦いが繰り広げられ、立ち見が出るほどの大盛況ぶりでした。また、当日参加できる「わんこそば大会」なども大変好評でした。

神大生をはじめ地域の方々にも参加していただいた飲食店・フリーマーケットも活気溢れるものとなり、小さいお子さまからお年よりまで、幅広い年齢の方に楽しんでいただけた大学祭となりました。さらに、今年を受験相談会や人間科学部の

# 第18回 平塚祭



イリュージョンライブ、工学部のオーブンラボなども行われ、五日には横浜FCの方に協力いただき、グラウンドでちびっこサッカー教室が行われました。両日とも天候に恵まれ、来場者数は過去最高の一八、〇〇〇人を記録しました。来場者の方々からも「楽しかった」「来年もまた来たい」等の意見をたくさん頂きました。(委員長 中澤岳志)

一〇月二八日(土)・二九日(日)に、湘南ひらつかキャンパスで開催された「第一八回平塚祭」は今年のコンセプトである『輝ける華々主役は君だ!』を掲げ、両日ともに大盛況の内に幕を閉じました。今年も学生だけではなく、地域住民の皆様方にも楽しんでいただける企画を多数そろえ、前年にはない企画が目白押しでした。例えば、チーム一丸となって引つ張った綱引き大会、世界レベルのダンスチームによるショーなど挙げきれないほどです。また、例年通り好評を頂いているお笑い芸人によるステージ、今年も、テレビで引っぱりダコの江戸むらさきさんと東京03において頂きました。今年のコンプレックスにある『主役は君だ!』の主役である皆様一人一人が思う存分楽しめた大学祭になったと思います。

## ● 過去最多の九三五名を迎えて ●

# 第12回 神奈川大学 ホームカミングデー 開催される

去る十月十五日(日)横浜キャンパス体育館において「第二回ホームカミングデー」が開催されました。

母校と卒業生の絆を深め、旧師や朋友との語りを通じ、ネットワークを広げていただくことを目的として、学校法人神奈川大学と社団法人宮陵会の協賛により始まったこの催しも十二回目を数えるに至りました。

は熱気に包まれ大いに賑わいました。北は北海道から南は沖縄までるる遠方から来られる方もおられることから、ホームカミングデーの開催日に合わせて、あらかじめゼミナールや研究室毎の同窓会を計画するケースも年々増えています。このように多くの方々への参加をいただき懇親を深めることは、大学関係者や宮陵会にとっても大きな喜びです。

今回は卒業後五十年以上(昭和三十一年以前卒)、三十五年目(昭和四十六年卒)、二十年目(昭和六一年卒)、十年目(平成八年卒)、一年目(平成一八年卒)の校友の方を中心にご案内いたしました。これ以外の方々も数多く会場に見えられ、実に九三五名という過去最多の参加をいただきました。

当日の式典は、卒業生であるテレビ山梨のニュースキャスター大西かやさんの司会進行により、学校法人神奈川大学自井宏尚理事長から歓迎挨拶、そして神奈川大学山火正則学長から学事報告が行われた後、参加者を代表して伊奈勝仁(昭和46年卒)さんから謝辞が述べられました。ウエルカムパーティーは、鏡開きにより社団法人宮陵会狩野七郎会長の発声により乾杯が行われ、歓談の輪が広がる中、本マガロの解体、茶道研究部の立礼によるお茶がふるまわれ、舞台では全日本吹奏楽コンクールで通算二十回目の金賞を受賞した吹奏楽部による演奏や空手道部による演舞が披露されました。

本マガロの解体が実演されました



その後、お楽しみ抽選会ではペア宿泊券等の豪華な賞品の抽選をめぐり場内は喜びの声や残念がる声に包まれ、やがて行事も最終段階の應援指導部の演技に移り、チャリダーなどの華やかな演技で会場の興奮は最高潮を迎えました。やがて卒業生全員と一緒に専門学校校歌、神奈川大学校歌を高らかに歌い上げホームカミングデーのフィナーレとなりました。



**祝**  
**本学名誉教授 高橋志保彦先生**  
**本学OB 瀬川晶司さん**  
**横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞**  
**横浜文化賞 受賞**

横浜市が芸術、教育、社会福祉、学術、スポーツ振興などの文化振興に貢献した個人・団体に贈る「横浜文化賞」と今後のさらなる活躍が期待される人に贈る「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」をそれぞれ、本学の名誉教授である高橋志保彦先生と本学OBの瀬川晶司さんが受賞されました。

横浜文化賞は一九五二年度に創設され今年が五五回目。高橋先生は都市デザインの第一人者として開港広場や山下公園通りなど横浜の様々な景観名所のデザインをされたことが評価され、瀬川さんは一度断念したプロの世界に挑み、戦後初のプロ棋士編入試験に合格、将棋への関心を広く高めたことなどが高く評



受賞された高橋志保彦先生(左)と瀬川晶司さん

価されたことから、今回の受賞となりました。

また、瀬川さんは今年の八月二十八日(月)、横浜キャンパスに来校され、将棋部との対局を行いました。在学中は将棋部にも所属していたことがある瀬川さん。今回の神大将棋部との対局はそんなつながりから実現し、当日は、瀬川さんが一人で同時に複数名と対局す

神奈川大学からの推薦を受け、これまでの横浜における都市デザインの業績、諸委員会等の社会的活動、大学教育での後進指導が評価され、このたび二〇〇六年度の横浜文化賞を頂きました。身に余る光栄に存じます。

わが国の都市デザインの実践は一九六〇年代後半から横浜市で始動しました。その黎明期から幾つかの先例のないプロジェクトに手探り状態から参加できたことは、幾多の苦労もありましたが大変幸運でした。

特にモール事業では、その後続く全国の事例の先導的プロトタイプを創ることができたと思います。街づくりは、市民、事業者、行政の各部署や関係機関の方々と専門家等、多くの人々が関わる連携と協働によって造り出される結晶です。それゆえ私は、これまで協働した人達を代表しての受賞と思っております。

二一世紀中に、人類の七〇%が都市に住むようになります。私は「人は都市を造り、

「多面指し」が行われました。はじめに六名、次に四名が挑戦し、次々と対局が終わっていき中、瀬川さんは、それぞれのウィークポイントや、指し方、どこで手を誤ったかなどを細かく指導され、複数相手にもかかわらず、丁寧で的確な指導に、対戦した学生も見学していた学生も真剣に耳を傾けていま

「居心地のよい場所」を創り出す努力をして参りました。よい風景と快適な歩行者空間整備を追い求めてきました。車はわずかに二〇余年前に人に奉仕するために出現しましたが、いま、道は車に支配されています

都市は人を造る」と考え、都市空間の中に「居心地のよい場所」を創り出す努力をして参りました。よい風景と快適な歩行者空間整備を追い求めてきました。車はわずかに二〇余年前に人に奉仕するために出現しましたが、いま、道は車に支配されています



**横浜文化賞を受賞して**

神奈川大学名誉教授 **高橋 志保彦**

す。本来は歩行者が主役の都市空間でなければなりません。歩行者が楽しく使えるモータリづくりや広場・公園づくりと都市景観整備に努めてまいりました。横浜においては、文明開化や近代化の歴史が色濃く残り、革新と国際化を推進する横浜において、歴史と伝統を重んじながら、場所の持つ特徴や

ムナード(一九九四)、馬車道整備第二期(二〇〇三)等々の街づくりをしてまいりました。これからも市民の求める建築と都市のデザインを心掛けてまいります。あわせて、神奈川大学出身者からは是非多くの街づくりを担う人が輩出して欲しいと願っております。

# 恩師 佐藤 甫先生の古希を祝う 卒業生ら多数出席で盛会

本学在学時のゼミの恩師、佐藤(旧姓 小林)甫先生(経済学部・貿易売買論、現在九州産業大学商学部教授)が、今年めでたく古希を迎えられました。私ども『常盤会』(B会)は予てよりお祝いの準備をしていましたが、去る九月二日(十七)、横浜みなとみらい21地区の横浜ロイヤルパークホテルにて、来賓とゼミ卒業生など合わせて百五十名近い方の出席を頂き『佐藤甫先生の古希祝賀会』を開催しました。

司会者の開会宣言で幕を開けた祝賀会は、ゼミの習わしである「黙想」から始まり、心が静まったところで常盤会代表の挨拶、来賓代表の祝辞へと進み、いよいよ次は先生のご挨拶へ。そしてお待ちかねシャンパンで乾杯！

暫くすると、大きな蝋燭が七本立てられたバスデーケーキの登場というサプライズ企画に、会場の全員がハッピーバースデーを合唱し祝賀会は最高潮を迎えました。またゼミ卒業生たちは各期入れ替わりで先生と「家族を囲み、近況報告や学生時代の思い出話を花を咲かせました。時間は瞬

く間に過ぎお開きまで残り僅かとなると、かつて合宿やコンパでそうしたように、最後は校歌斉唱とエールで締め、全員が次の再会を誓い合いました。「人生七十古来稀」と謳った中国の詩人・杜甫には申し訳ないですが、七十歳に

なられても先生は益々お元気、現在も現役で活躍中です。先生におかれましては、これからも健康に留意され喜寿、米寿を祝われま

すことを切に願って止みません。なおこの日、私たちは祝賀会に先立ち『神大散策ツアー』と称して、白楽駅から六角橋商店街を抜け本学まで歩き、施設も充実し立派になった新しい神大キャンパスを見学しました。

最後にありがとうございましたが、この度は宮陵会、工

学部の本田広幸先生始め本学関係者に多大なるご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。(常盤会事務局 榎田 利光 52頁)

## 特別展

### 「戦後教育改革と神奈川大学」開催

#### 神奈川大学資料編纂室

資料編纂室では、このたび「戦後教育改革と神奈川大学」(二〇〇六年九月二日〜一月三〇日・神奈川大学図書館展示ホール)と題した特別展を開催いたしました。この展示は、長かった戦争も終わった戦後改革期に焦点を当て、神奈川大学誕生前後の動向を様々な資料から見えたものです。戦後改革の要点の一つに「教育」があげられていたことは良く知られているところです。昨年行ないました展示(特別展「旧制横浜専門学校―戦時下の学生」)の光景や、軍国主義の惨禍を二度と



## 神大の歴史(25)

### 江本茂夫先生



江本茂夫先生

を優秀な成績で修了し、後に香

江本茂夫先生については、すでに『宮陵』誌上に多くの卒業生がその思い出を書いているが、改めて先生のプロフィールを紹介する。先生は一八八八(明治二二)年徳島県に生まれ、徳島中学卒業後、陸軍士官学校へ入学

一九一(明治四四年)年に同校を卒業、その後語学将校の道へ進むこととなり、一九一

八(大正七)年陸軍高等試験(英語)に合格、東京外国語学校(現東京外国語大学)へ一年間派遣された。そこ

を優秀な成績で修了し、後に香

港へ留学。帰国後、大阪の中外商業学校や大倉高等商業などへ配属将校で赴任、その後予備役となり一九三六(昭和一一)年になって

本学の前身横浜専門学校に就任する。横専での先生の旺盛な教育活動については卒業生の思い出や『神奈川大学を築いた人々』に収録された出来成訓教授の「江本茂夫先生」に詳しいが、その英語教育法は徹底しており、見事な成果を挙げ、英語教育界でも高い評価を得たという。

横専での五年半の英語教師生活の後、先生は一九四一(昭和一六)年に再び召集され品川停車場司令官を命ぜられる。この頃江本は捕虜収容所の問題に関心をもち、収容所長への補職希望を提出したという(小川優一「捕虜から敬愛された捕虜収容所長「江本茂夫中佐」」、『SECURITARIAN』二〇〇五年二月号所収)。その結果一九四四(昭和一九)年三月

江本は、函館俘虜収容所長に任命された。所長時代のことは以前「宮陵」第四〇号に「イギリスの作家が語った江本教授」と題してイ

ギリスの作家が語った江本教授」と題してイ

ギリシアの作家が語った江本教授」と題してイ

ギリシアの作家が語った江本教授」と題してイ

ギリシアの作家が語った江本教授」と題してイ

ギリシアの作家オズワルド・ワインド氏自身が捕虜となつて暮らした函館俘虜収容所のことがある。そこでは江本所長が捕虜のオズワルド・ワインド氏と一緒に英和辞書作りを進め、また収容所の民主的な運営に努めたことが記されている。先ほど紹介した小川氏の「捕虜から敬愛された捕虜収容所長「江本茂夫中佐」」には、函館俘虜収容所長の江本が如何に収容所の改善に尽力したかが具体的に記され、戦後江本が戦犯容疑で巣鴨プリズンに収監された時、それを知った元捕虜たちが多数の釈放嘆願書が届き、裁判にかけられることもなく釈放されたことなども触れられている。さらに一九四六年一月の「星条旗新聞」には二回にわたって江本の人道的な捕虜取り扱いを賞賛した記事が掲載されたことも合わせて紹介されている。こうして現在に至るまでその功績が語り継がれている江本先生のことを改めて神奈川大学の歴史に記録しておきたい。

改めて神奈川大学の歴史に記録しておきたい。(S)



祝賀会 佐藤甫先生の古希祝賀会 (来賓と「家族」の皆様)